

第一問 つぎのわく内の文を、所定時間内で下書きなさい。所定時間 4分
(必ずボールペンを使用すること。)

準
一
級

一枚め

花を見て楽しむという風習は、そもそもは中国の詩文からきており、平安貴族が歌を詠む対象として桜を観賞したのが、お花見のはじまりです。ちなみに、桜が観賞される前には唐文化の影響で梅の花が貴族たちの好みであったようで、「万葉集」では、梅の花を詠んだ歌が桜の歌の三倍以上もあります。

花を見て楽しむという風習は、そもそもは
中国の詩文からきており、平安貴族が歌
を詠む対象として桜を観賞したのが、お
花見のはじまりです。ちなみに、桜が観賞
される前には唐文化の影響で梅の花が
貴族たちの好みであったようで、「万葉集」
では、梅の花を詠んだ歌が桜の歌の三
倍以上もあります。

試験会場名	団体名	受験番号	第一問
			点

準一級

二枚め 文部科学省後援 書写技能審査
平成二十五年 度第一回硬筆書写技能検定 試験問題 実技問題

試験会場名
団体名
受験番号

第二問から
第五問まで
の合計点

点

受験者名簿に転記

第二問

つぎの★印のあるわく内の四つの語句（八字）を、楷書・行書・草書の三体で書きなさい。
（つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。）鉛筆で下書きをしてはいけない。

楷書

青葉 芳香 開花 季節

行書

青葉 芳香 開花 季節

草書

青葉 芳香 開花 季節

★ 青葉 芳香 開花 季節

第三問

つぎの★印のあるわく内の文を、左に書きなさい。（漢字は行書で書くこと。平仮名は連綿で書いてもよい。）
（つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。）鉛筆で下書きをしてはいけない。

雨にぬれる公園を歩くと、紫陽花
の花はまだ小さい。手毬のように丸く
なり、「七化け」とも呼ばれる花色の
妙を見せるのは少し先だろう。

第三問
点

第四問

つぎのわく内の文を、横書きで下に書きなさい。
（漢字は楷書で書くこと。数字やローマ字は、
仮名や漢字に似合うものであればよい。速書き
をねらうものではありません。）（つけペン・万年
筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用
すること。）鉛筆で下書きをしてはいけない。

キリマンジャロ（スワヒリ語 Kilimanjaro）はタンザニア北東部にある山で、標高5,895 m。山脈に属さない独立峰としては世界一の高さを誇る。

キリマンジャロ（スワヒリ語 Kilimanjaro）はタンザニア北東部にある山で、標高5,895 m。山脈に属さない独立峰としては世界一の高さを誇る。

第四問
点

第五問

つぎの★印の……で囲んだわく内のa・b・cのうち、いずれか一つを選んで、左の余白に、自分の得意とする形（書体・書きぶり・布置など）で書きなさい。鉛筆で下書きをしてはいけない。

妙を見せるのは少し先だろう

★
雨にぬれる公園を歩くと、紫陽花の花はまだ小さい。手毬のように丸くなり、「七化け」とも呼ばれる花色の妙を見せるのは少し先だろう。

紫陽花（あじさい） 手毬（てまり）

第四問

つぎのわく内の文を、横書きで下に書きなさい。
（漢字は楷書で書くこと。数字やローマ字は、仮名や漢字に似合うものであればよい。速書きをねらうものではありません。）〈つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。〉鉛筆で下書きをしてはいけない。

キリマンジャロ（スワヒリ語 Kilimanjaro）はタンザニア北東部にある山で、標高5,895 m。山脈に属さない独立峰としては世界一の高さを誇る。

キリマンジャロ（スワヒリ語 Kili-
manjaro）はタンザニア北東部
にある山で、標高5,895 m。山
脈に属さない独立峰としては
世界一の高さを誇る。

第四問
点

第五問

つぎの★印の……で囲んだわく内のa・b・cのうち、いずれか一つを選んで、左の余白に、自分の得意とする形（書体・書きぶり・布置など）で書きなさい。鉛筆で下書きをしてはいけない。
なお、その場合、自由にわくの大きさや縦横の割合などを考え、鉛筆で外わくを囲った体裁のよい形に仕上げなさい。
〈つけペン・万年筆またはボールペン・サインペン・油性または耐水性顔料のマーカーを使用すること。〉

夏の夜の月まつほどのすさびに 岩もる清水いくむすびしつ	夏の夜の 月まつほどの すさびに 岩もる清水 いくむすびしつ
--------------------------------	--

第五問
点

★ a 夏の夜の月まつほどのすさびに 岩もる清水いくむすびしつ （金葉和歌集）	b 書かれた文字だけが本ではない 火の光り 星の瞬き 鳥の声	c 静愛和花落 幽聞入竹聲 （僧皎然）
---	--------------------------------------	------------------------------

源氏物語を読む会

とき

六月十六日（日）

午前十時から十二時まで

ところ

市教育文化会館

講師

佐藤浩一先生

参加費

五〇〇円

主催

南区立図書館

平成25年度第1回硬筆書写技能検定 第六問用紙（準1級）4枚め

試験会場名	団体名	受験番号	第六問
			点

受験者名簿に転記

降る
や
白雲の
つらさ
を
か
る

寸草人
消
ゆ
え
思
い

この世が創られた時と同じに

光は突然人の肩に重く輝く

人なりと単純なのに

生きたら、う、とは

江 山
璵 青
鳥 花
逾 欲
白 然